

「アセスメント科学」 C195_S3の2020年度の活動報告

昨年度の活動報告には、2019年度の活動を踏まえて、2020年度はS1とS2の活動との協力関係を強化することと、企業の思いを達成するためのいくつかのプロジェクトを立ち上げる。例えば：

- ・CTの放射線量のガイドラインとそれぞれのCT装置の達成度
 - ・被曝の個人記録のプラットフォームの作成
- と書かれている。

今年度は始まりの段階でコロナ騒ぎで出鼻を挫かれた。分科会で議論をしてから、この重要なプロジェクトの立ち上げを再三企画したが、結局は集まる機会を作ることができなかった。

そこで、年度末のC195委員会で「C195の未来を切り開くプロジェクト」として2つのプロジェクトを2021年度からスタートさせることを提案し、承認していただいた。

プロジェクトAは「加速器による医療用RI製造プロジェクト」であり、主にはTc99mの世界的な動向を調べ、国内生産の可能性も追求する。

プロジェクトBは「医療と防護で使われている人の被曝量のビッグデータを作るプロジェクト」であり、医療・診断で使われた放射線ビッグデータを放射線率の情報も加味した形でまとめる。

これらの具体的な説明文をワードファイル「C195の未来を切り開くプロジェクト3」として添付しておく。

パブリックコミュニケーションの方法については、2020年度はコロナに対する政府や各自治体のコメントの出し方を嫌と言うほど勉強させてもらった。政府の諮問委員会として機能している委員や委員長の発言の持つ力も勉強できた。テレビやSNSの持つ力も実感できた。科学者としてどのように発信するべきかを勉強できる良い機会であったと考えている。

C195委員会

第3分科会座長 土岐博（文責）